

中小企業の部品加工技術の見える化による医療機器分野参入モデル事例

SESSA 中小企業医療機器 開発ネットワーク

所在地	諏訪市
構成企業数	5社
主要事業	医療機器ODM 医療機器用ユニット製造 医療機器用部品製造

研究開発のポイント

- 中小ものづくり企業では、自分たちの技術が顧客に提供できる価値をできるだけ具体的に提案することで新規顧客獲得につなげている。
- しかし、医療機器分野への新規参入を目指す場合、医療機器の特殊性から、具体的な提案ができず、新規顧客獲得は難しかった。
- そこで、中小ものづくり企業の連携体「SESSA中小企業医療機器開発ネットワーク」(以下、SESSA)を結成し、参加企業それぞれが持つ優れた技術を結集して試作した医療機器の試作品により、医療機器分野で顧客に提供できる価値を具体化し、この試作品を展示会に出展することで、新規顧客の獲得を目指した。

主な開発成果

- SESSA参加企業それぞれが持つ優れた技術を結集して試作した内視鏡処置具を開発した。
- ドイツで開催される世界最大の医療機器製造展COMPAMEDに、SESSAとして出展し、試作した内視鏡処置具により医療機器メーカーに具体的な提案を行った。

効果

- 国内外の医療機器メーカーからの、医療機器ODM、医療機器用部品加工などの商談に繋げることができた。

公益財団法人長野県テクノ財団支援事例 【メディカル産業支援センター】

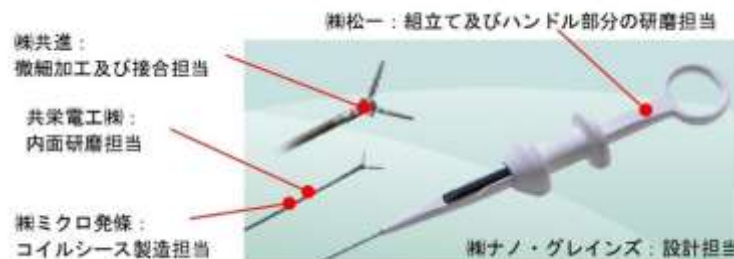
担当コーディネータ: 由佐 史江

参画機関

- ・共栄電気株式会社
- ・株式会社ナノ・グレインズ
- ・株式会社マイクロ発條
- ・株式会社共進
- ・株式会社松一

活用した支援制度

- ・地域イノベーション戦略支援プログラム (H26年度: 文部科学省)
- ・中小企業販売力強化支援モデル事業 (H26年度: 全国商工会連合会)
- ・JAPANブランド育成支援事業 (H27年度: 中小企業庁)
(補助事業者: 長野県中小企業団体中央会)



SESSAが開発した内視鏡用鉗子サンプル